

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会

発行代表者 岩切 旻世

編集者 財津 悠子

印刷所 ヤマダスピード製版

主題聖句

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」ローマの信徒への手紙 12章15節

私が神学生であった頃、牧会の現場に立つということが、どのようなことなのか知りたいと思いましたが、そのために牧師の仕事に関する本を、何冊か手に入れて読みました。「現代牧師論」、「牧師の仕事」、「牧師その神学と実践」などです。久しぶりに本を開いてみると、赤や青の線が引いてあり読んだ痕跡が残っています。牧師とされて五年目に入りましたが、按手を受けてから余り開いていませんでした。当時マニュアルのようなものが欲しかったのですが、適（かな）うものがないと気づいたからです。それでも読み返すと、ヒントをくれることがあります。



マニュアルのない牧会

鹿児島・阿久根 教会牧師

小山 茂

教会の働きの場で何か困った時、決断を求められる時、どうすればいいのか迷うことがあります。この世の知恵と神の知恵の違いを、まだよく分からないからです。私の思いが先に立ちますが、相手の思いはどうなのか、主の御旨はどこにあるのか、時に袋小路に入ってしまう。自分で考えても結論が出せない、困ってどうしたらいいか分からない、もう祈るしかないと思った時が始まります。つまり、自分の限界を認め、そこからスタートラインに立てます。牧師と言う仕事には、成功体験ではなく失敗体験が肥やしになります。

かつて読んだ「傷ついた癒し人」という神学生の必読書があります。その著者であるヘンリー・ナウエンは、さまざまなきを促してくれま。彼の著作は、行き詰まった時にヒントをくれます。彼の著作『今日のパン、明日の糧』で、成功することと実りが多いことは、大きく違くと語りま。成功は報酬と名声をもたらす、実りは弱さと傷つき易さによりもたらされる。人と人との交わりは傷を分かち合って出来る果実であり、親しさは互いの傷に触れることを通して出来る果実です。ここを読んでホッとすると同時に、牧会は改めてたいへんだなと思います。それでも、主が共にいてくださるから、向き合っていけます。



2013年九州教区女性会修養会

みんなで聖書研究

〜共に祈ろう〜 「主の祈り」を学ぶ

6月22日(土) 箱崎教会

今期の修養会は、角本浩先生(神水、松橋教会牧師)をお迎えして、「主の祈り」について学びました。また、ルーテル支援センター・となりびとの野口勝彦先生による活動報告会、つるしびなの展示会も行つことができました。女性会だけでなく、青年会、中高生、壮年会、J3、幼児を含め140名の集いとなり、熱気と恵みに満ちた祈りの時、交わりの時となりました。ホールでの、被災地支援品販売とレインボーハウスのお菓子販売も大盛況でした。ご参加くださった兄弟姉妹、ご協力くださった方々に感謝いたします。

祈るといふこと

甘本教会 本間 明子

今回の修養会は、中学生の娘と参加しました。キャンプで知り合った人との再会など子どもなりに繋がりがあることも知りました。この繋がりが広がって、将来の女性会の力となってくれればいいなと思いつながら会は始まりました。

《祈りについて》角本先生のお話しを聞く中で、思い出すことがありました。私

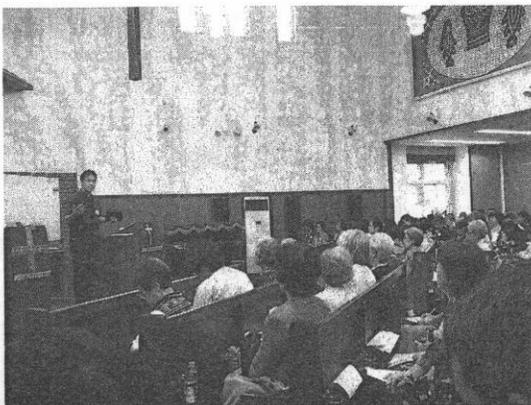
は以前、夫の実家で誰も居ない仏間で祖母が孫一人一人の事を祈っている光景を目にしたことがあります。孫の嫁の私まで名前が挙がっていたのでそれはとても長い祈りでした。その祈る姿はとても美しく尊いものでした。

続いて《主の祈りについて》の学びでは、ここでもやはり、神さまと自分だけの関係でなく隣人をも巻き込んだの繋がりを考えさせられました。これまで、主の祈りを唱える時、「我」ではなく「我ら」と言っていることを意識していません

した。牧師先生がそのことを話された時、「我ら」とは現在礼拝に集まっている会衆だけではないと思いました。今教会が在るのは、かつてこの地を開拓してきた先人がいて、それを私たちの時代に繋げてくれた先輩がいます。その人たちはきつと私たちのことを祈ってくれていた筈です。それならば私たちは、教会に来る未来の人たち、会員だけでなく、求道者の人も、子どもたちや教会に繋がる人のために「我らの…」と祈りに覚えたいと思いました。

ワークショップでは、今まで話したことのない方とペアになりました。他の人が私の事を私にはない言葉で祈ってくれた。新しい本を読むような新鮮な感覚でした。反対に私が相手のことを祈る番になって、少しドキッとしました。もしかするとその方は人にその悩みや願いを話すのは初めてかもしれないし、その人の心の中を垣間見ることへ「私が聞いていいのかな」というような小さな責任のようなものも感じたりして…。でも、近い人には言えないことも、今日初めて話す私だから話せることもあるかも…と真摯な気持ちで祈ることができました。このワークショップで、人のことを祈りつつも逆に自分の気持ちが照らし出されるような気がしました。

祈りとは弱い自分と向き合うと同時に大きな力を与えてくれるのだと改めて感じた学びの時となりました。



角本先生による「主の祈り」の学び



互いに祈り合う

共に祈り合った修養会

玉名教会 坂本 陽子

修養会の申し込み期日が迫る中、博多の町へ一人で出かけなければならぬ、という思いが不安をおおりに参加することになり弱くなった私でしたが、箱崎教会に着いた途端、出席者の多さに圧倒されました。老若男女、熱気ムンムンとしてその熱意はつと続いてゆきました。テゼのうたには涙しました。いままさにお兄さんを天国へ見送ろうとしている一人の姉妹とその御家族の悲しみ寂しさに想いをはせ、それらの全てを包んでくれるような静かな優しいメロディーに痛く心うたれました。



それぞれの会から代表して祈る

「祈りは大切とわかっていても祈れない日もあるでしょう。でもそんな時でも誰かがあなたのために祈りしてくれています。主の祈りは「我らの祈り」です。」と角本先生から教えていただきました。そしてなるべく自分と違う立場にいる人と二人組になって自分の悩みを打ち明け、お互いのために祈り合いました。」との指示に従い私の隣に来てくれた人はこれまで全然面識のない兄弟でしたが、名前が息子と一緒に、しかも現在玉名で勤務されているとのこと、あまりの不思議さにただただもうビックリ。

女性会のみならず、壮年会や希望の星である青年会、中高生の方たちと共に祈ることができましてありがとうございます。



手をつなぎ共に祈る

女性の会修養会に参加して

箱崎教会 因 てい子

(青年会代表)

私が「主の祈り」を暗記したのは、高校生の頃でした。それから、何度折っても飽きることはなく、折るたびに、「そうだ、その通りだ。本当にこの祈りの通りになればいいのに」と心から思っています。特に前半には「みなが崇められ、天国が到来し、み心が地に成る」キリスト者としての究極の願いが凝縮されていて、本当に大好きな祈りです。この大好きな祈りについて学ぶことができ感謝です。



「つるしびな」展示とメッセージノート

共に祈る

博多教会

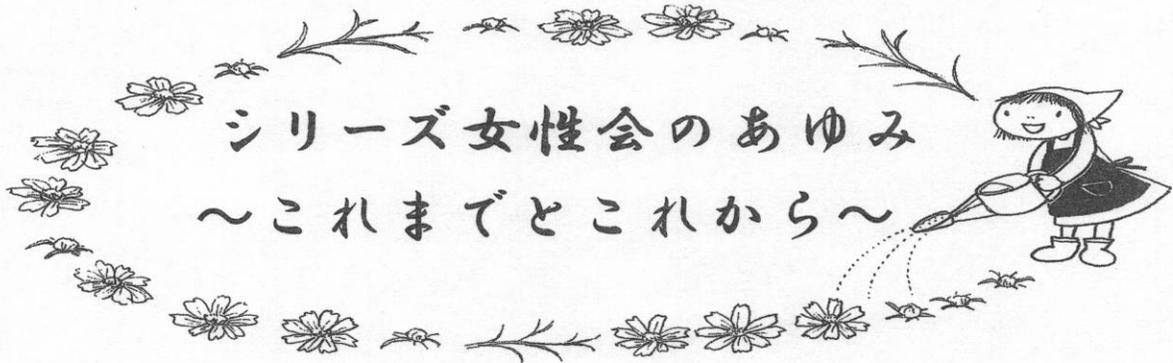
インターナショナル

スクール8年

ヘッセル・クリスティーン

六月二十二日に修養会に参加し、祈りについて学びました。特に心に残ったことは、「祈りは呼吸のようなものである」ということです。聖書には絶えず祈りなさいとあります。しかし絶えず祈ることは難しく、祈っていない時や忘れていた時があります。けれども、どこかで自分の為に祈ってくれている人がいて、それによって祈りが繋がります。絶えず祈ることができるというわけです。身近にある祈りでも、分からなかったことを知ることができ勉強になりました。

また、初対面の人とペアになって祈る時間では、相手の方が曾祖母の友人だったので、神様のご計画は素晴らしいと思いました。九州のティーンズの友達と久しぶりに会えたことも嬉しかったです。



これまでのあゆみ

十六期連盟の歩み

福岡西教会 橋口 栄子



今、女性会連盟の活動の働きを支えている事務局は、宣教百年を記念して建てられた東京教会の一室に設置されました。七年前のことでした。

それまで先輩役員は前期の役員会から引き継いだ書類の山とともに自宅で会務にたずさわってこられたのです。その中で「事務局が必要」との切実な願いと祈りは、第十五回総会で実りました。事務局設置委員会が設けられていろいろな角度から検討し、具体的な準備が進められました。第十六回総会で設置が決議されました。十七期の役員によって、五つの教区の女性会が連帯してお互いの絆を深め成長して良い活動ができるように、パソコンの設置やインターネットの接続など一つひとつ整えられてきました。非常勤スタッフの配置とあいまって、役員の会務が合理化され、有職であつてもその役を担えるようになったのではないかと

思います。

第十七回総会でも、教区の抱える問題の違いによって設置に同意できない声もあり、一時混沌とした総会になりました。しかし、最終的に多数決によつて承認されたときにはホッとしました。

突然十六期の重責を託されたとき、第十五回、第十六回総会資料を手に事務局設置という大きな議案とそれに伴う規約改正案など思いに余ることばかりでした。活動方針に沿つて役員会(各役員は一人ひとりが真剣に役目と責任を担い)で話し合い、先輩役員・各協力委員・会員の皆さまに支えられて夢中ですごした三年間でした。事務局が設置されたことでのこれまでの連盟活動の歩みはすべて資料が保管されています。また多くの情報処理やサバ神学校支援など海外交流活動の窓口になつていきます。

これからのあゆみ

蒔かれた種

合志教会

松岡 君代



合志教会は創立六十一周年を迎えました。

私と教会の出合いは隣接する愛泉保育園に入園した時に始まりました。それから長い間教会に足を運ぶことはありませんでしたが、神様のお導きにより、保育園に仕事が与えられ、再び教会に導かれました。

保育園の時に蒔かれた種が実を結ぶ、本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。

今は、女性会の会員として、愛する姉妹の方々と、女性会の聖書研究会、お仕事を守りつつ、神様の恵みの中を歩ませていただきます。いと心から祈っています。



東日本被災地をめぐる旅に参加して

室園教会

倭 恭子

3月4日〜7日まで、短い日数でしたが九州教区社会奉仕部主催の東日本被災地をめぐる巡礼の旅に参加させていただきました。震災直後から、ルーテルとなりびと^ルの立ち上げにかかわり、主に石巻市北上地区を中心とする被災現場での支援活動に献身してこられた伊藤、立野両牧師が今回の旅の企画から案内まで引き受けてくださいました。実際に訪れてみて、被害の広範さ、酷さに言葉を失いました。がれきはほほ片づけられていたものの、かつてあったはずの沿岸の町々や漁村や農村が消え去って何もない光景が、数百キロにわたって延々と続いているのです。多くの人命が一瞬にして奪われ、家族や家、仕事を失って今なお仮設をはじめとする避難先で苦しみに

耐えて生活している人々がおおぜいいる現実の前に立ちすくみました。イエス様の十字架の道行を覚えて13の被災地を祈りつつ巡り5か所の仮設住宅では祈りの花とメッセージを届けて回りました。復興に立ち足はだかる様々な複雑で困難な状況の中で心が折れそうになっている被災者の方々の苦しみに寄り添いニーズに応える活動を今後さらに継続していくことが強く求められていると思います。女性会の雑巾やアルバム復興活動は確かに役立ち喜ばれていました。



石巻市社会福祉協議会河北支所
(ボランティア活動の拠点としてルーテルとなりびとが協働したところ)にて、参加者一同と共に

ティーンズ
春の全国 teens キャンプ

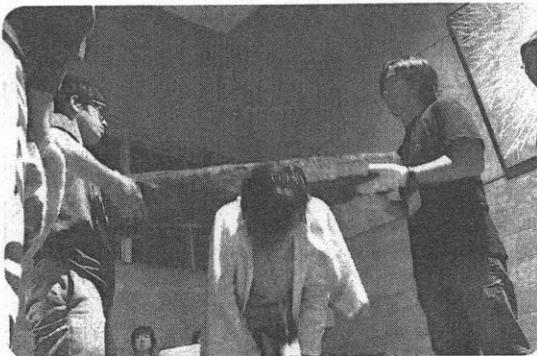
春キャン2013

博多教会 山縣 愛(高2)

私は今回初めてティーンズキャンプに参加しました。今までキリスト教とこんなに深く向き合ったことはないというほど充実した三日間になりました。

参加してみてもどろいたのは賛美歌を歌っていると、どこからか手をつないだり肩をくんだりして、メンバーが一つの輪になることです。心一つにして歌う賛美歌はとても気持ちがよかったです。全国から集まったティーンズのメンバーたちは自分のしつかりとした考えをもっていると感じました。そんなティーンズのメンバーと友達になれてとても嬉しいです。最後の別れでは「また来年も絶対に会おうね」と言われ、涙が出そうになりました。

この機会が与えられたことに本当に感謝しています。



十字架の横木を背負う

今年も春キャンに参加出来てよかったです。一年ぶりに友達に会えたり、新しく友達ができたりして、楽しい春キャンになりました。今年の春キャンのテーマは「イエス・キリストに出会う」でした。すこし難しいテーマだとは思いました。自分はいつも身近にイエス様はいるものと感じていたので、「出会う」といわれると、難しく考えてしまい、自分一人では、考えることができないと思いました。

春キャンに行き、いろいろな人の考えを、聞くことで、「出会う」とは、どんなものなのかなどを考えたり、イエス様を今まで以上に、身近に感じたり、少しはイエス様に近付けたのではないかと思ったりもしました。グループでの活動もいろいろなることを話せたり、したりして楽しかったです。来年の春キャンもとても楽しみです。

イエス・キリストに出会う春

長崎(官崎)教会 広瀬 知登(中3)

教区女性会 2012年決算報告と2013年予算

■第18期九州教区女性会会計報告

■2012年度 連盟送金内訳

| | 科目 | 2012年 | | 2013年 | 項目 | 内訳 | 金額 |
|--------|-----------------|-----------|-----------|---------|------------|----------------------|-----------|
| | | 予算 | 決算 | 予算 | | | |
| 収 入 | 1 教会会費 | 408,000 | 398,400 | 398,400 | 連盟会費 | 332人×@2600 | 863,200 |
| | 2 みちしるべ購読 | 23,200 | 23,800 | 23,800 | 会報購読 | 112人×@500 | 56,000 |
| | 3 感謝献金 | 200,000 | 160,850 | 160,000 | サバ神学生支援 | 24教会 | 160,500 |
| | 4 席上献金 | 50,000 | 72,100 | 50,000 | 感謝献金 | 連盟指定60500 感謝献金149250 | 209,750 |
| | 5 シルバープロジェクト献金 | 60,000 | 148,500 | 50,000 | リストコイン | 23教会、 | 68,069 |
| | 6 預金利子 | 91 | 91 | | ACWC署名 | 17教会 | 33,400 |
| | 7 雑収入 | 0 | 16000 | | 合計 | | 1,390,919 |
| | 8 前年度繰越金 | 396,009 | 396,009 | 314,489 | 積立金 | | |
| | 合計 | 1,137,300 | 1,215,750 | 996,689 | シルバープロジェクト | 1,119,077 | |
| 支 出 | 9 役員会費 | 120,000 | 114,225 | 120,000 | 連盟総会参加の積立 | 220,421 | |
| | 10 会長、役員活動費 | 100,000 | 97,069 | 100,000 | | | |
| | 11 通信費 | 25,000 | 17,605 | 25,000 | | | |
| | 12 事務消耗費 | 30,000 | 27,292 | 30,000 | | | |
| | 13 みちしるべ印刷、発行 | 150,000 | 93,090 | 100,000 | | | |
| | 14 集会費 | 100,000 | 67,580 | 200,000 | | | |
| | 15 慶弔費 | 30,000 | 13,800 | 30,000 | | | |
| | 16 支援費 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | | | |
| | 17 指定献金 | 50,000 | 72,100 | 50,000 | | | |
| | 18 シルバープロジェクト指定 | 60,000 | 148,500 | 50,000 | | | |
| | 19 連盟総会積立 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | | | |
| | 20 予備費 | 222,300 | 0 | 41,689 | | | |
| | 21 次年度繰越 | 0 | 314,489 | 0 | | | |
| | 合計 | 1,137,300 | 1,215,750 | 996,689 | | | |

特記事項 1. 会費1200×332
2. みちしるべ購読のみ200×119部
18. シルバープロジェクト 里村村 10万円 14. 修養会開催予定

阿蘇山荘

清掃奉仕

5月18日(土)、今年も阿蘇山荘清掃奉仕が、熊本地区の兄弟姉妹により行われました。地区女性会が中心となり壮年、青年、九州ルーテル学院の職員、学生と幅広い層が集まり、草刈りにお布団干し、ワックスがけに台所の食器に至るまで丁寧に整えてくださいました。

この阿蘇山荘で今年も教区の中高生キャンプが行われます。安心して阿蘇の大自然の中で遊び、学ぶ機会が持てるのも熊本地区の皆さまのおかげです。ありがとうございます。

みなさんも、この夏阿蘇山荘を訪れてみませんか？



活動報告

- 第43期第6回常議員会陪席 12月4日 教区事務所
- 第43期第7回常議員会陪席 1月29日 教区事務所
- 第5回役員会 2月5日 箱崎教会
- 熊本地区女性の会 総会 2月16日 熊本教会
- 北九州地区婦人会 総会 3月1日 小倉教会
- 信徒大会 3月19・20日 九州学院
- 春のティーンズ キャンプ支援(5万円) 3月26・28日 阿蘇青少年交流の家
- 第6回役員会 4月9日 箱崎教会
- 第43期第8回常議員会陪席 4月16日 教区事務所
- 第43期第9回常議員会陪席 5月21日 教区事務所
- 第7回役員会 5月28日 箱崎教会
- 連盟役員研修会 6月19・20日 東京教会
- 教区女性会修養会 14名参加 6月22日 箱崎教会

◆編集後記◆

本格的な夏に向かっておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか？93号をお届けいたします。お忙しい中、原稿を書いてくださった方々に感謝いたします。発行も三度目となり、要領が少しわかってきました。これからの女性会の皆様に楽しく読んでいただけるような紙面にする努力をして参ります。ご意見やご感想をいただければ、大変うれしく思います。皆様のご健康を祈りつつ。

財津 悠子

ご 召 天

| | | |
|---------|-----|-------------|
| 松木 葉子姉 | 84歳 | 久留米教会 |
| | | 2012年12月27日 |
| 本田 綾子姉 | 90歳 | 博多教会 |
| | | 2013年1月2日 |
| 二重作マサヨ姉 | 96歳 | 八幡教会 |
| | | 2013年6月18日 |

神さまのみもとでの平安をお祈りいたします。

